

京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2024年第11週（3月11日～3月17日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0.html>

◆ 今週のコメント

インフルエンザの定点当たり報告数は京都市7.39（前週8.96）と減少しました。
全国では17.26（前週16.14）と増加し、警報継続中です。主に北陸及び関東以北で報告数の多い状況となっています。
※インフルエンザは定点当たり報告数が「30」以上で警報レベルとなり、10を下回るまで継続します。

◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフル/COVID-19	69	インフルエンザ	7.39	8.96	10.39
		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	4.45	4.94	4.70
小児科 (多い順に5位まで)	43	1. 感染性胃腸炎	5.95	5.88	5.77
		2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.23	1.93	2.07
		3. RSウイルス感染症	0.51	0.33	0.09
		4. 咽頭結膜熱	0.35	0.44	0.53
		5. 手足口病	0.33	0.33	0.47
眼科	10	流行性角結膜炎	0.20	0.10	0.70

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

◆ 全数把握感染症の報告状況（第10週以前の追加報告分を含みます）

2類感染症 結核 4例（本年累積48例）

今週追加4例内訳（肺結核0例、その他結核1例、潜在性結核感染者3例）うち喀痰塗抹陽性0例

本年累積48例内訳（肺結核15例、その他結核15例、潜在性結核感染者18例）うち喀痰塗抹陽性7例

5類感染症 急性脳炎 1例（本年累積2例）

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1例（本年累積8例）

5類感染症 梅毒 1例（本年累積19例）

5類感染症 麻しん 1例（本年累積1例）

◆ 今週のトピックス：麻しん

現在、全国で麻しん患者の発生が複数報告されています。本市においても3月12日に、令和元年以来5年ぶりとなる患者が発生しており、今後の感染の拡大に注意が必要です。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 次ページ以降の内容

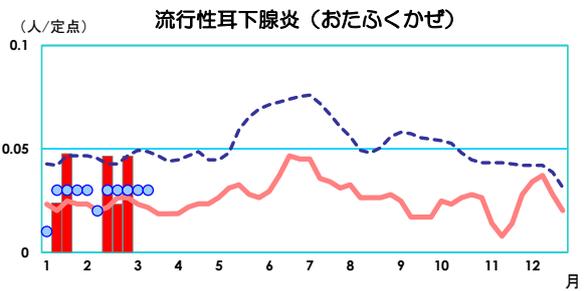
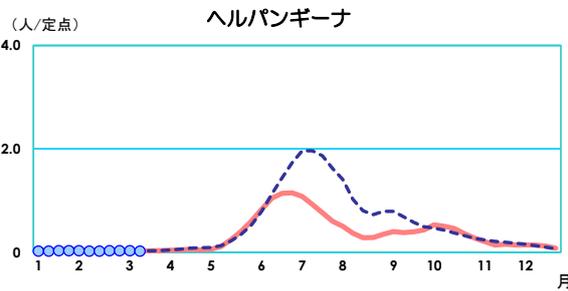
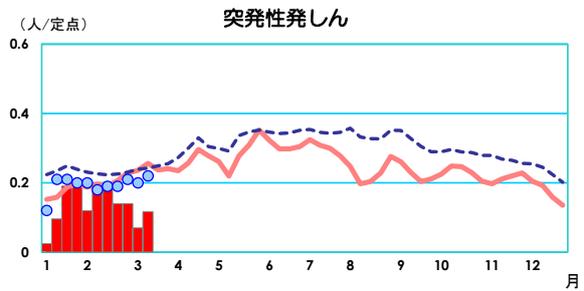
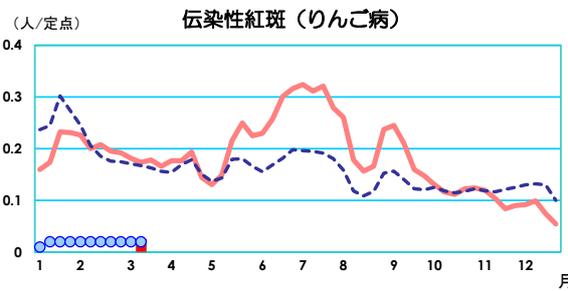
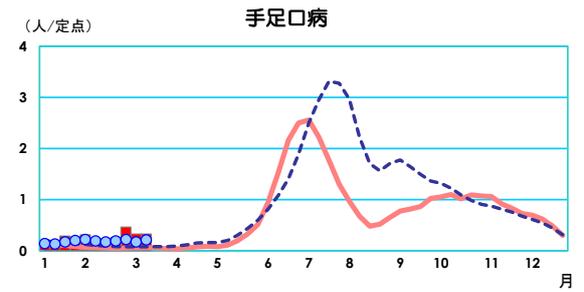
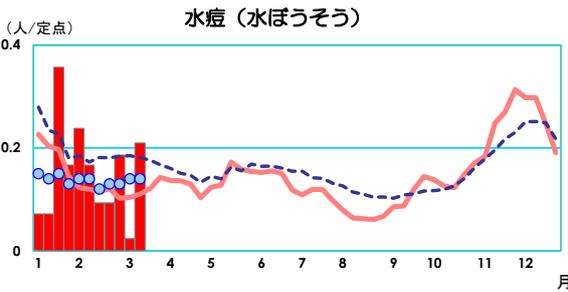
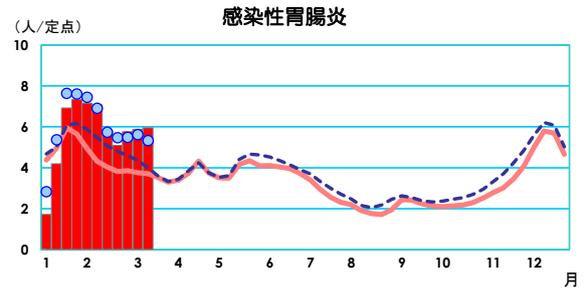
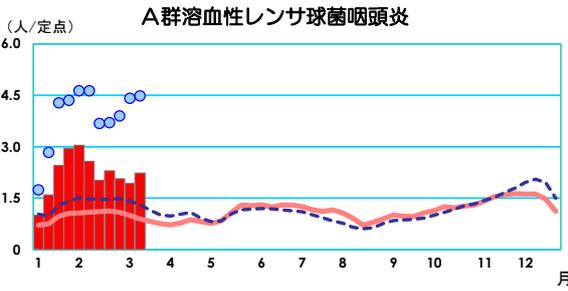
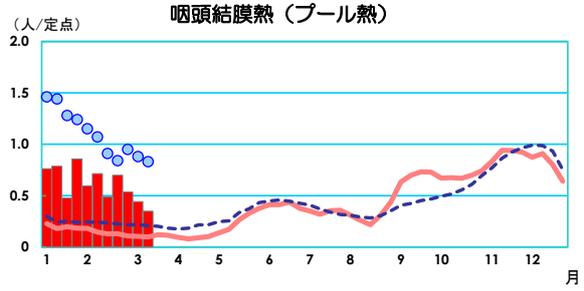
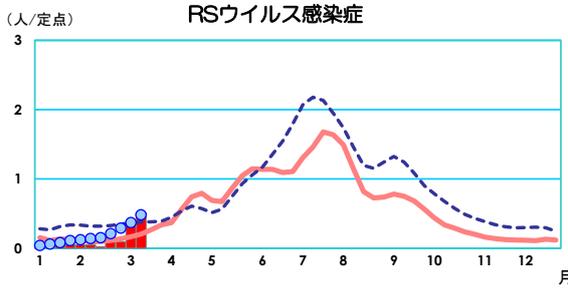
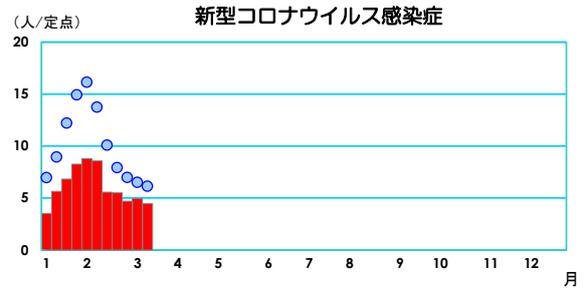
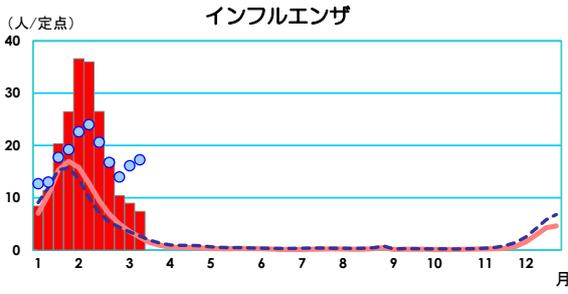
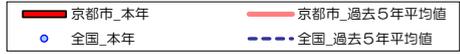
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ/COVID-19及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・トピックス
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・インフルエンザ/COVID-19、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

京都市のデータは、2024年3月21日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

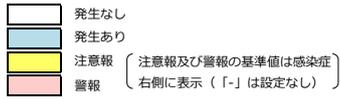
本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は紙面の都合等により、新型コロナウイルス感染症、COVID-19、COVID-19と記載している箇所があります。

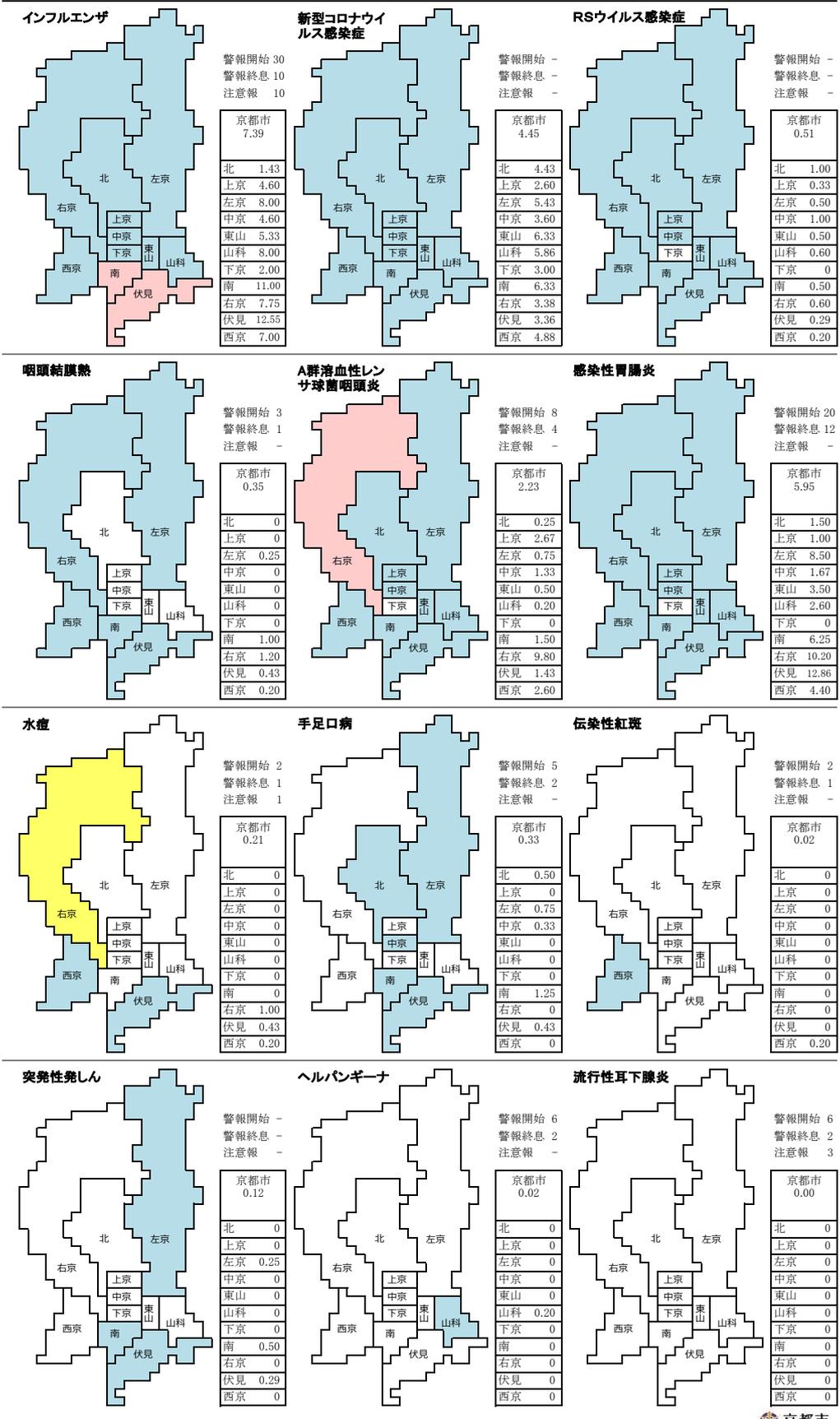
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2024年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図 【2024年 第 11 週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。
 ※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部局・保健所等の衛生行政機関専門家に
 注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。



2024年 全数把握感染症の月別発生状況（京都市）

集計期間：2024/1/1～2024/3/17

類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 累計	2023年 累計(参考)
急性灰白髄炎（ポリオ）														
結核	20	21	7										48	239
ジフテリア														
2類 重症急性呼吸器症候群（SARS）*1														
中東呼吸器症候群（MERS）*2														
鳥インフルエンザ（H5N1）														
鳥インフルエンザ（H7N9）														
コレラ														
細菌性赤痢														
3類 腸管出血性大腸菌感染症														38
腸チフス														1
パラチフス														
E型肝炎														4
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎														
エキノコックス症														
黄熱														
オウム病														
オムスク出血熱														
回帰熱														
キャザナル森林病														
Q熱														
狂犬病														
コクシジオイデス症														
エムボックス														
ジカウイルス感染症														
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）*3														
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
タニ媒介脳炎														
炭疽														
チクングニア熱														
つつが虫病														1
4類 デング熱														4
東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9を除く）														
ニパウイルス感染症														
日本紅斑熱														3
日本脳炎														
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
鼻疽														
ブルセラ症														
ヘネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ボツリヌス症														
マラリア														2
野兔病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症	3	4											7	24
レプトスピラ症														
ロッキー山紅斑熱														
アメーバ赤痢														7
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）														1
カルバ（ヘネム）耐性腸内細菌目細菌感染症	8	5											13	39
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）														2
急性脳炎*4		1	1										2	2
クリプトスポリジウム症														1
クロイツフェルト・ヤコブ病				1									1	4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	1											5	12
後天性免疫不全症候群		2											2	13
シアルシア症														
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3												3	10
侵襲性髄膜炎菌感染症														
侵襲性肺炎球菌感染症	3	3	2										8	35
水痘（入院例に限る。）	1												1	3
先天性風しん症候群														
梅毒	10	4	5										19	109
播種性クリプトコックス症	1												1	2
破傷風														2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
バンコマイシン耐性腸球菌感染症														3
百日咳														1
風しん														
麻しん			1										1	
薬剤耐性アシネトバクター感染症														2
*5 新型コロナウイルス感染症*6					2023年5月8日以降、5類定点把握感染症に変更									44,377

(*1)病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(*2)病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(*3) 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

(*4)ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、タニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ヘネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。(*5)分類名は「新型インフルエンザ等」

(*6)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

第11週(3月11日～3月17日)トピックス:<麻疹>

現在、全国で麻疹患者の発生が複数報告されています。本市においても3月12日に、令和元年以来5年ぶりとなる患者が発生しており、今後の感染の拡大に注意が必要です。

近年の世界における麻疹の発生状況をみると、2019年に541,401例が報告され、2020年、2021年は93,840例、59,619例と2019年と比べ、約1/5以下に減少しました。しかし、2022年以降は増加し、2024年3月時点における2023年の報告数は315,542例となっています(図1)。2020年、2021年の報告数の減少は、2017年から2019年における麻疹流行後の免疫力の向上やCOVID-19流行の影響が考えられます。

2023年は世界的に麻疹症例の報告数が増加しており、インド、東地中海地域、アフリカ地域、ヨーロッパ地域で60,000例を超える麻疹の報告がありました。特にヨーロッパ地域の報告数は2022年の30倍以上と急増しています(図2)。

国内においても、COVID-19流行の影響で減少していたと考えられる麻疹届出数は2023年に28例と前年より増加しました(表)。そして、2024年第11週時点での麻疹累積報告数は20例です(図3)。近年の国内における麻疹の発生は、輸入症例が端緒と考えられる事例であり、COVID-19の流行によって制限されてきた国際的な人の往来が再び活発になっています。今後も海外からの輸入症例に伴う、国内発生の増加が予想されます。

麻疹の感染を予防する対策として、麻疹の罹患歴がなく、2回の麻疹含有ワクチン接種歴が明らかでない場合は接種を検討することが重要です。また、麻疹の発生が常発的にみられたり、患者数が増加している情報のある国や地域へ渡航する際は、渡航者本人の感染予防及び帰国後の国内での感染拡大防止のために、渡航前に2回の麻疹含有ワクチン接種歴があることを確認することが推奨されます。

麻疹に関する情報は、厚生労働省及び国立感染症研究所のウェブサイトで最新の情報を確認することができます。

【厚生労働省】麻疹について

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

【国立感染症研究所】麻疹とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

また、海外で注意すべき感染症については、厚生労働省検疫所のホームページ「FORTH」に最新の情報が提供されています(<http://www.forth.go.jp/index.html>)。

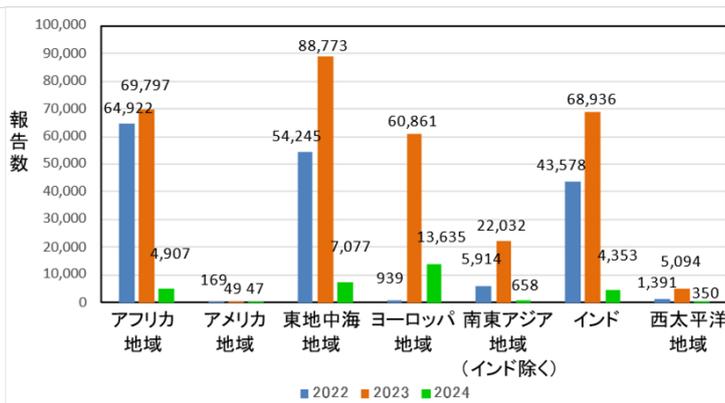
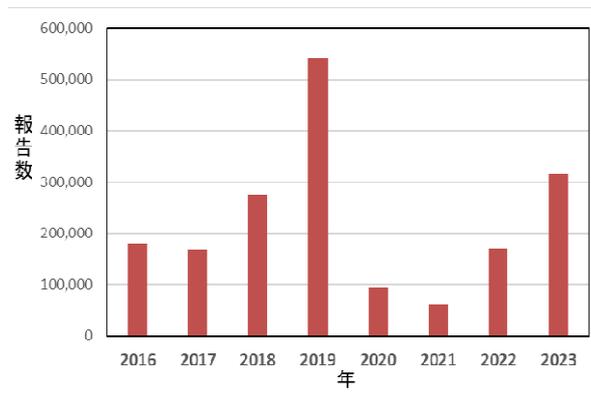


図1 2016年から2023年の世界の麻疹報告数(2024年3月時点)* 図2 2022年から2024年の海外6地域の麻疹報告数(2024年3月時点)*

表. 国内の感染者数の推移(2024年11週まで)

年	全国(人)	京都市(人)
平成20年	11,015	106
21年	147	4
22年	447	2
23年	439	0
24年	283	1
25年	229	3
26年	462	4
27年	35	0
28年	165	2
29年	186	1
30年	279	1
31年/令和元年	744	2
2年	10	0
3年	6	0
4年	6	0
5年	28	0
6年(~11W)	20	1

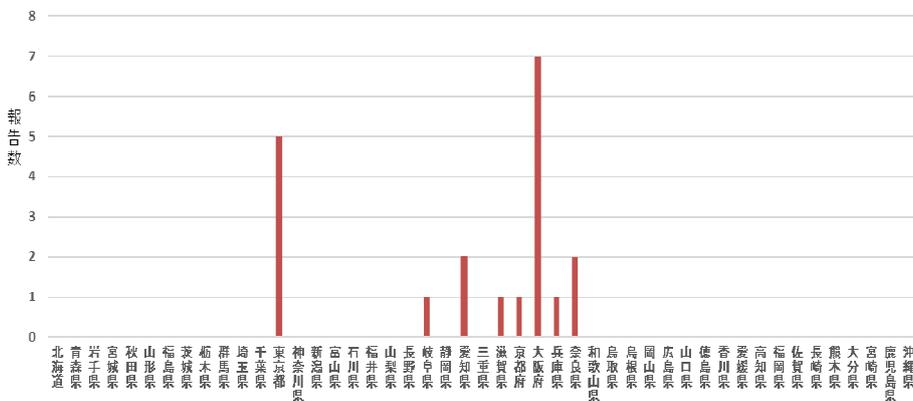


図3. 2024年都道府県別麻疹累積報告数(2024年11週まで)

*出展:WHO Measles and Rubella Global Update March 2024(データを一部編集し、使用)

京都市感染症発生動向調査情報（行政区別）

T3201

2024年 第11週（2024/3/11～2024/3/17）

データ取得日：2024年3月21日

報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
	（報告医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
インフル COV19	インフルエンザ（※ 1）	10	23	56	23	16	56	4	66	62	138	56	510
	新型コロナウイルス感染症（※ 2）	31	13	38	18	19	41	6	38	27	37	39	307
小児科	小児科（定点医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
	（報告医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
小児科	R Sウイルス感染症	4	1	2	3	1	3	-	2	3	2	1	22
	咽頭結膜熱	-	-	1	-	-	-	-	4	6	3	1	15
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	8	3	4	1	1	-	6	49	10	13	96
	感染性胃腸炎	6	3	34	5	7	13	-	25	51	90	22	256
	水痘	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	1	9
	手足口病	2	-	3	1	-	-	-	5	-	3	-	14
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	突発性発しん	-	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	5
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	眼科（定点医療機関数）	1	1	1	2	...	1	1	2	1	10
	（報告医療機関数）	1	1	1	2	...	1	1	2	1	10
	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	...	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	...	1	1	-	-	2
基幹	基幹（定点医療機関数）	1	1
	（報告医療機関数）	1	1
基幹	細菌性髄膜炎（※ 3）	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-

定点当たり報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計	
インフル COV19	インフルエンザ（※ 1）	1.43	4.60	8.00	4.60	5.33	8.00	2.00	11.00	7.75	12.55	7.00	7.39	
	新型コロナウイルス感染症（※ 2）	4.43	2.60	5.43	3.60	6.33	5.86	3.00	6.33	3.38	3.36	4.88	4.45	
小児科	R Sウイルス感染症	1.00	0.33	0.50	1.00	0.50	0.60	-	0.50	0.60	0.29	0.20	0.51	
	咽頭結膜熱	-	-	0.25	-	-	-	-	1.00	1.20	0.43	0.20	0.35	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	2.67	0.75	1.33	0.50	0.20	-	1.50	9.80	1.43	2.60	2.23	
	感染性胃腸炎	1.50	1.00	8.50	1.67	3.50	2.60	-	6.25	10.20	12.86	4.40	5.95	
	水痘	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	0.43	0.20	0.21	
	手足口病	0.50	-	0.75	0.33	-	-	-	1.25	-	0.43	-	0.33	
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.02	
	突発性発しん	-	-	0.25	-	-	-	-	0.50	-	0.29	-	0.12	
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	0.02	
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	...	-	-	-	-	-
		流行性角結膜炎	-	-	-	-	...	1.00	1.00	-	-	0.20
	基幹	細菌性髄膜炎（※ 3）	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	
基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	

※ 1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※ 2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※ 3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（年齢階級別）

T3202

報告数

2024年 第11週 (2024/3/11~2024/3/17)

データ取得日：2024年3月21日

インフルエンザ/COVID-19定点 (報告医療機関数69)	総数	~6 ヶ月	~12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	510	-	5	14	10	23	31	38	48	36	46	33	127	34	21	23	15	4	-	-	2
新型コロナウイルス感染症(※2)	307	2	6	11	7	4	2	6	5	4	4	10	35	16	25	25	32	31	20	28	34
小児科定点 (報告医療機関数43)	総数	~6 ヶ月	~12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20歳 以上						
R Sウイルス感染症	22	7	3	5	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	15	-	-	5	1	2	-	2	1	-	2	2	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	96	-	4	5	5	10	12	11	11	3	8	5	14	2	6						
感染性胃腸炎	256	3	6	16	25	20	25	29	23	16	16	28	26	5	18						
水痘	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	2	3	-	-						
手足口病	14	-	1	4	4	1	1	1	1	-	-	1	-	-	-						
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
突発性発しん	5	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
眼科定点 (報告医療機関数10)	総数	~6 ヶ月	~12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
基幹定点 (報告医療機関数1)	総数	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 24歳	25~ 29歳	30~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60~ 64歳	65~ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

定点当たり報告数

インフルエンザ/COVID-19定点	総数	~6 ヶ月	~12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	7.39	-	0.07	0.20	0.14	0.33	0.45	0.55	0.70	0.52	0.67	0.48	1.84	0.49	0.30	0.33	0.22	0.06	-	-	0.03
新型コロナウイルス感染症(※2)	4.45	0.03	0.09	0.16	0.10	0.06	0.03	0.09	0.07	0.06	0.06	0.14	0.51	0.23	0.36	0.36	0.46	0.45	0.29	0.41	0.49
小児科定点	総数	~6 ヶ月	~12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20歳 以上						
R Sウイルス感染症	0.51	0.16	0.07	0.12	0.07	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	0.35	-	-	0.12	0.02	0.05	-	0.05	0.02	-	0.05	0.05	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.23	-	0.09	0.12	0.12	0.23	0.28	0.26	0.26	0.07	0.19	0.12	0.33	0.05	0.14						
感染性胃腸炎	5.95	0.07	0.14	0.37	0.58	0.47	0.58	0.67	0.53	0.37	0.37	0.65	0.60	0.12	0.42						
水痘	0.21	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	0.05	0.05	0.07	-	-						
手足口病	0.33	-	0.02	0.09	0.09	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-						
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-						
突発性発しん	0.12	-	-	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
眼科定点	総数	~6 ヶ月	~12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-
基幹定点	総数	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 24歳	25~ 29歳	30~ 34歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60~ 64歳	65~ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（10週推移）

T3203

報告数		2024年 第1週～2024年 第11週										データ取得日：2024年3月21日
		疫学週										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
定点区分	インフル/COV19（定点医療機関数）	68	68	68	68	68	68	69	69	69	69	69
	（報告医療機関数）	68	68	68	68	68	68	69	69	69	69	69
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	570	776	1,382	1,798	2,487	2,445	1,829	1,201	717	618	510
	新型コロナウイルス感染症（※2）	239	383	464	561	597	583	384	380	324	341	307
	小児科（定点医療機関数）	42	42	42	42	42	42	43	43	43	43	43
	（報告医療機関数）	42	42	42	42	42	42	43	43	43	43	43
小児科	R Sウイルス感染症	2	-	2	2	2	2	1	7	4	14	22
	咽頭結膜熱	32	33	20	36	25	30	21	30	23	19	15
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	67	103	124	128	108	87	99	89	83	96
	感染性胃腸炎	72	176	291	308	301	297	251	219	248	253	256
	水痘	3	3	15	7	10	7	4	4	8	1	9
	手足口病	5	4	12	11	13	5	10	11	20	14	14
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	突発性発しん	1	4	8	8	5	8	8	6	6	3	5
	ヘルパンギーナ	-	-	3	4	1	1	-	3	2	2	1
	流行性耳下腺炎	-	1	2	-	-	-	2	1	2	-	-
		眼科（定点医療機関数）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
（報告医療機関数）		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	5	4	5	5	3	1	2	4	7	1	2
	基幹（定点医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	（報告医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
基幹	細菌性髄膜炎（※3）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数

		疫学週										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
インフル COV19	インフルエンザ（※1）	8.38	11.41	20.32	26.44	36.57	35.96	26.51	17.41	10.39	8.96	7.39
	新型コロナウイルス感染症（※2）	3.51	5.63	6.82	8.25	8.78	8.57	5.57	5.51	4.70	4.94	4.45
小児科	R Sウイルス感染症	0.05	-	0.05	0.05	0.05	0.05	0.02	0.16	0.09	0.33	0.51
	咽頭結膜熱	0.76	0.79	0.48	0.86	0.60	0.71	0.49	0.70	0.53	0.44	0.35
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.60	2.45	2.95	3.05	2.57	2.02	2.30	2.07	1.93	2.23
	感染性胃腸炎	1.71	4.19	6.93	7.33	7.17	7.07	5.84	5.09	5.77	5.88	5.95
	水痘	0.07	0.07	0.36	0.17	0.24	0.17	0.09	0.09	0.19	0.02	0.21
	手足口病	0.12	0.10	0.29	0.26	0.31	0.12	0.23	0.26	0.47	0.33	0.33
	伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02
	突発性発しん	0.02	0.10	0.19	0.19	0.12	0.19	0.19	0.14	0.14	0.07	0.12
	ヘルパンギーナ	-	-	0.07	0.10	0.02	0.02	-	0.07	0.05	0.05	0.02
	流行性耳下腺炎	-	0.02	0.05	-	-	-	0.05	0.02	0.05	-	-
	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	0.40	0.50	0.50	0.30	0.10	0.20	0.40	0.70	0.10	0.20
基幹	細菌性髄膜炎（※3）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
- ※2 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、ヒトに伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。
- ※3 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

